

日本生物物理学会 派遣講師情報

<ul style="list-style-type: none"> • 氏名（ふりがな） 飯野 亮太（いいの りょうた） 													
<ul style="list-style-type: none"> • 所属先・職名 自然科学研究機構・分子科学研究所・教授 													
<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイト： https://groups.ims.ac.jp/organization/iino_g/index.html 													
<ul style="list-style-type: none"> • プロフィール 埼玉県生まれ。工学修士を京都大学(1997年)、理学博士を名古屋大学で取得(2003年)。東京工業大学、大阪大学、東京大学での研究生生活を経て、2014年より現職に着任。たんぱく質分子で出来た小さな機械を自由自在に作って生き物を操りたいと思っています。「高校生のための化学講座」(日本化学会主催)や市民公開講座での講演経験があります。博士になって好きな研究をするのはとても楽しいですよ。皆さんも是非。 													
<ul style="list-style-type: none"> • 可能な講義内容 													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">講義タイトル、内容</th> <th style="width: 20%;">対象学年</th> <th style="width: 20%;">実験の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> 「たんぱく質で出来た小さな機械が働く仕組み」 私たちの体の中では、たんぱく質で出来たとても小さな機械が日夜働いています。たんぱく質機械は、人間が作った大きな機械に負けない、時にはそれ以上の高い性能を発揮します。自然が作ったたんぱく質機械が働く仕組みがわかれば、さらに優れた機械が作れるかもしれません。本講義では動画を観ながら、たんぱく質機械の代表例である回るたんぱく質と歩くたんぱく質を中心に、わかってきたことをご紹介します。 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">中学生・高校生</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">無し</td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	講義タイトル、内容	対象学年	実験の有無	「たんぱく質で出来た小さな機械が働く仕組み」 私たちの体の中では、たんぱく質で出来たとても小さな機械が日夜働いています。たんぱく質機械は、人間が作った大きな機械に負けない、時にはそれ以上の高い性能を発揮します。自然が作ったたんぱく質機械が働く仕組みがわかれば、さらに優れた機械が作れるかもしれません。本講義では動画を観ながら、たんぱく質機械の代表例である回るたんぱく質と歩くたんぱく質を中心に、わかってきたことをご紹介します。	中学生・高校生	無し							
講義タイトル、内容	対象学年	実験の有無											
「たんぱく質で出来た小さな機械が働く仕組み」 私たちの体の中では、たんぱく質で出来たとても小さな機械が日夜働いています。たんぱく質機械は、人間が作った大きな機械に負けない、時にはそれ以上の高い性能を発揮します。自然が作ったたんぱく質機械が働く仕組みがわかれば、さらに優れた機械が作れるかもしれません。本講義では動画を観ながら、たんぱく質機械の代表例である回るたんぱく質と歩くたんぱく質を中心に、わかってきたことをご紹介します。	中学生・高校生	無し											
<ul style="list-style-type: none"> • 出張可能地域 特に制限なし 													
<ul style="list-style-type: none"> • 授業形態、設備などに関する希望 プロジェクトが必要になります。 													